

県内の交通状況の紹介

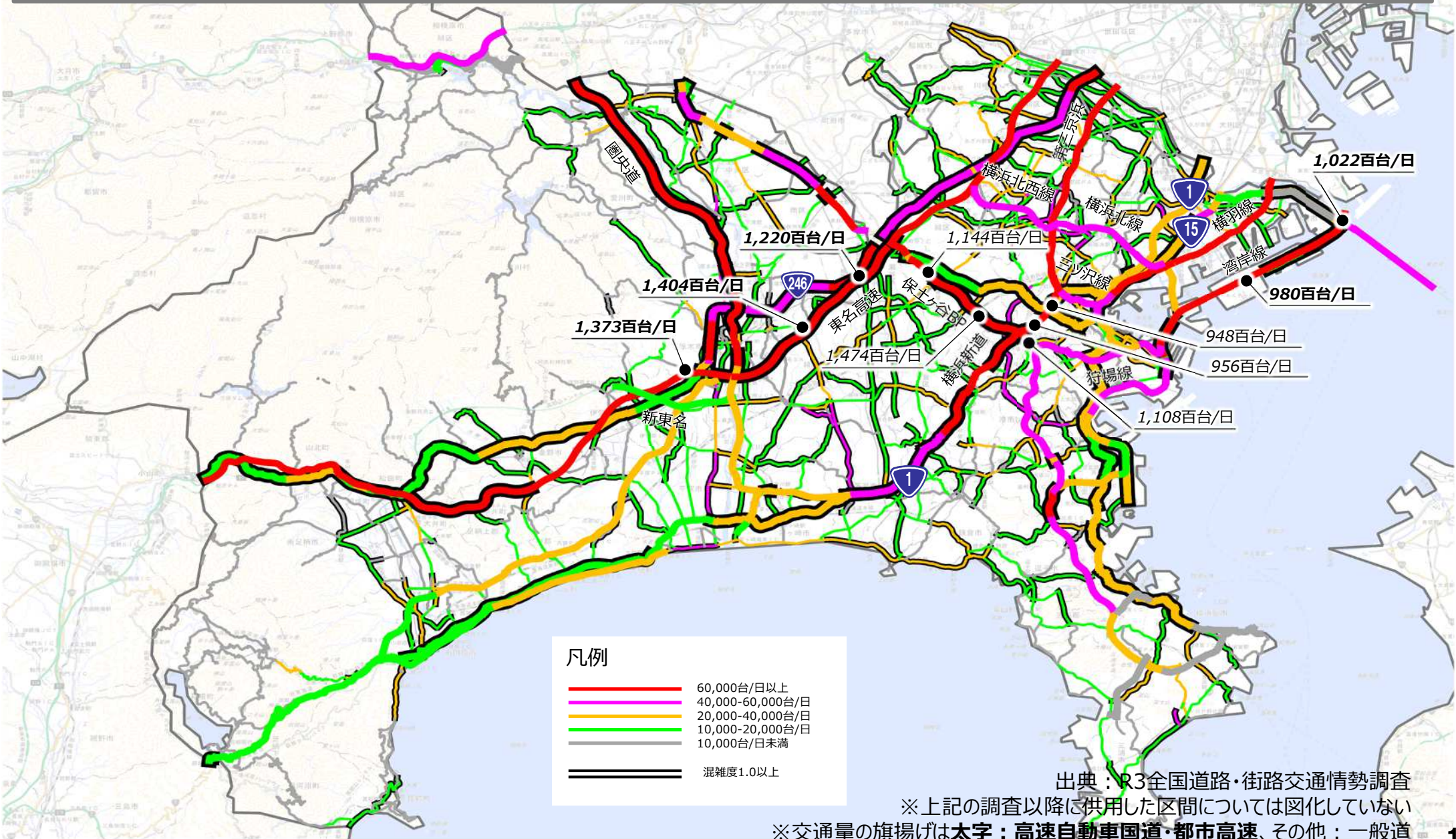
- 神奈川県内の主要路線の交通量
- 神奈川県内の主要路線の交通量の変化
- 神奈川県内の渋滞状況
- 神奈川県内の交通特性

令和6年2月27日

4 県内の交通状況の紹介

4-1 神奈川県内の主要路線の交通量

○東西方向の交通を担う東名高速や国道1号の交通量が多く、混雑度1.0以上の区間が連続。

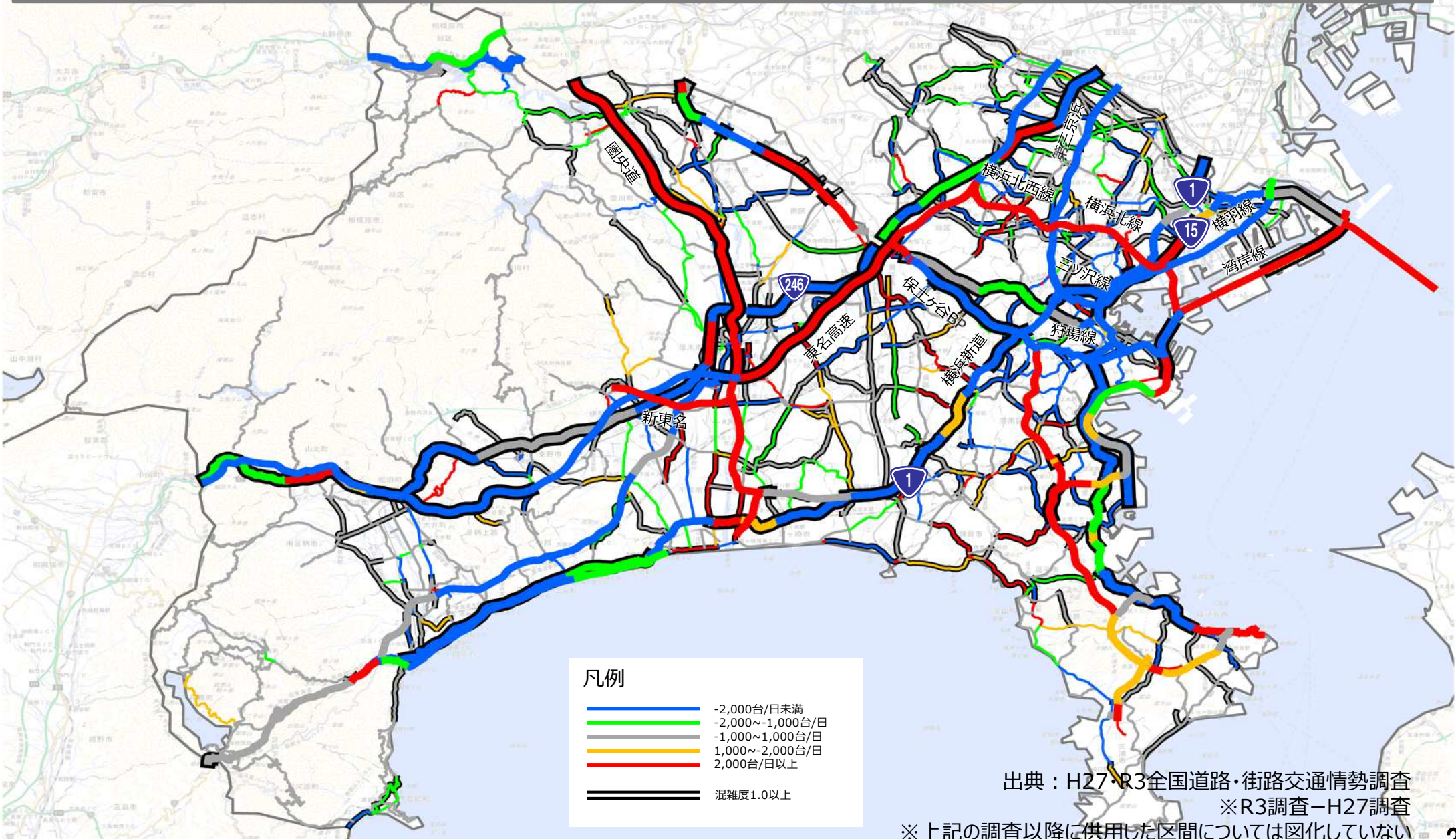


出典：R3全国道路・街路交通情勢調査
※上記の調査以降に供用した区間については図化していない
※交通量の旗揚げは太字：高速自動車国道・都市高速、その他：一般道

4 県内の交通状況の紹介

4-2 神奈川県内の主要路線の交通量の変化

○交通集中により混雑・渋滞が発生している東名高速においては、交通量が増加傾向。



出典：H27・R3全国道路・街路交通情勢調査
※R3調査-H27調査

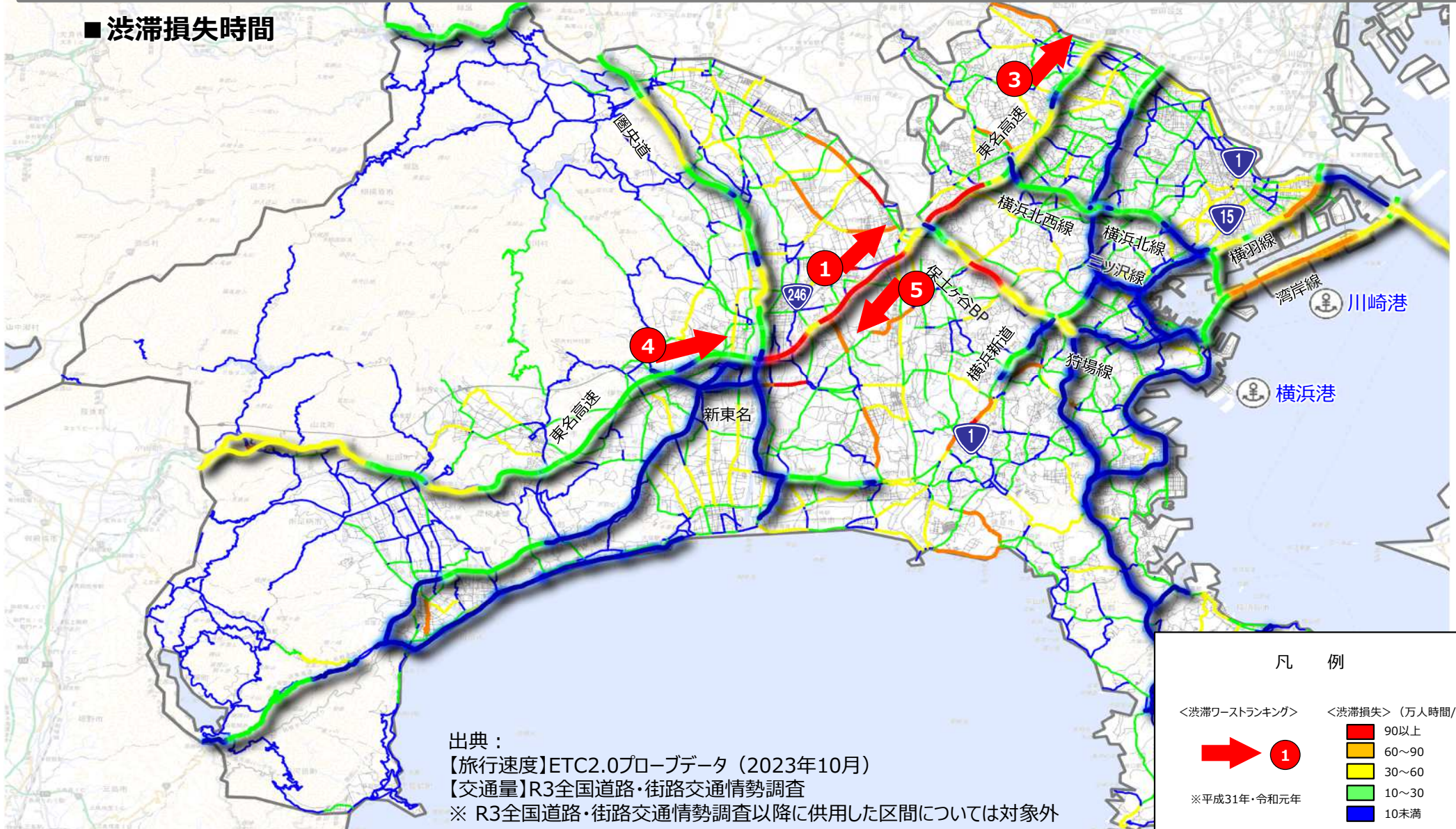
※上記の調査以降に供用した区間については図化していない

4 県内の交通状況の紹介

4-3 神奈川県内の渋滞状況

- 東名高速は渋滞ワースト上位区間が多数存在。
- 保土ヶ谷バイパスは、横浜北西線開通後もなお渋滞損失が大きい状況。

■ 渋滞損失時間



4 県内の交通状況の紹介

4-4 神奈川県内の交通特性

- 県内のトリップの発生・集中量は、人口が集中し、港湾エリア(横浜港、川崎港)が隣接している横浜市が最も多く次いで川崎市、3番目は相模原市となっている。
- 圏央道以東エリアに発生・集中量の上位が集中している。

■神奈川県内の市町村別面積あたり発生・集中量 (H27)

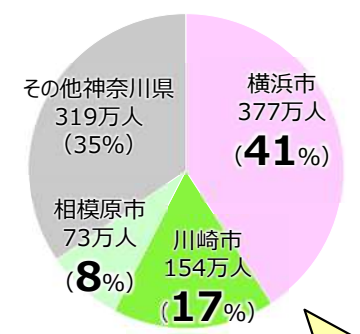
順位	市町村名	発生・集中量 (面積あたり)
1	横浜市西区	23,089
2	横浜市中区	14,882
3	横浜市都筑区	14,192
4	川崎市宮前区	13,499
5	横浜市港南区	13,314
6	川崎市幸区	12,522
7	横浜市南区	12,387
8	相模原市中央区	12,283
9	横浜市青葉区	12,235
10	横浜市港北区	11,986
11	横浜市神奈川区	11,939
12	大和市	11,889
13	横浜市保土ヶ谷区	11,552
14	座間市	11,465
15	川崎市高津区	10,809
16	横浜市鶴見区	10,510
17	海老名市	10,269
18	横浜市戸塚区	10,162
19	川崎市川崎区	10,068
20	川崎市中原区	10,015
21	横浜市緑区	9,679
22	藤沢市	9,630
23	横浜市金沢区	9,447
24	横浜市旭区	9,300
25	横浜市瀬谷区	9,230
26	横浜市磯子区	8,992
27	相模原市南区	8,897
28	茅ヶ崎市	8,604
29	横浜市泉区	8,342
30	寒川町	8,314

面積あたり発生・集中量では、上位30位を全て圏央道以東の市町村が独占

発生・集中量は人口が多い横浜市や川崎市など圏央道以東エリアに上位が集中



<神奈川県 人口割合>



人口は政令市である横浜市、川崎市が神奈川県全体の約6割

出典：神奈川県人口統計調査 (R5.5)

凡 例

<発生・集中量>
単位：百トリップエンド/日：面積あたり

- 100以上 (Red)
- 50~100 (Orange)
- 30~50 (Yellow)
- 10~30 (Green)
- 10未満 (Blue)

※「圏央道以東エリア」は圏央道が立地する市町村を含むエリア
※発生・集中量の上位5位を赤字で表記

※上位30位まで 単位：トリップエンド/日：面積あたり

出典：H27道路交通調査 OD表算出

4 県内の交通状況の紹介

4-4 神奈川県内の交通特性（移動方向[圏央道以東]①）

○圏央道以東エリアと他の都道府県間の繋がり(内外交通)をみると、東西方向の移動が上位。

■神奈川県周辺のOD特性（圏央道以東エリアの内外交通）

- ②東京都（23区以外） 29.9万台
- ⑤埼玉県 5.7万台
- ⑨茨城県 1.5万台
- ⑩群馬県 1.1万台

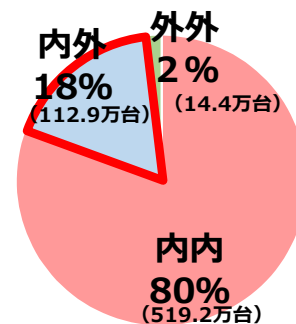
- ①東京都（23区） 34.9万台
- ④千葉県 6.8万台

内外交通^{※1} 上位10位

区分	順位	エリア1	エリア2	交通量	割合
内外交通	①	圏央道以東	東京都（23区）	34.9万台	30.9%
	②	エリア	東京都（23区以外）	29.9万台	26.5%
	③		圏央道以西（県内） ^{※2}	23.3万台	20.6%
	④		千葉県	6.8万台	6.0%
	⑤		埼玉県	5.7万台	5.0%
	⑥		静岡県	3.6万台	3.2%
	⑦		中部以西 ^{※3}	2.5万台	2.2%
	⑧		山梨県	1.8万台	1.6%
	⑨		茨城県	1.5万台	1.3%
	⑩		群馬県	1.1万台	0.9%

内外交通 総交通量: 112.9万台

※1:「内外交通」とは、圏央道以東エリアと他のエリアを移動する交通と定義
 ※2:「圏央道以西(県内)」とは圏央道以東エリア外の神奈川県内
 ※3:「中部以西」は、静岡県及び山梨県を除く中部地方、北陸地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方



圏央道以東エリアのOD特性



4 県内の交通状況の紹介

4-4 神奈川県内の交通特性（移動方向[圏央道以東]②）

○神奈川県の圏央道以東エリアを通過するOD（外外交通）は、東西方向に通過交通が上位を占めている。

■神奈川県周辺のOD特性

- ② 埼玉県 ⇄ 圏央道以西（県内） 1.4万台
- ⑥ 埼玉県 ⇄ 静岡県 0.9万台
- ⑦ 東京都（23区以外）⇄ 圏央道以西（県内） 0.9万台

神奈川県を通過する外外交通※1 上位10位

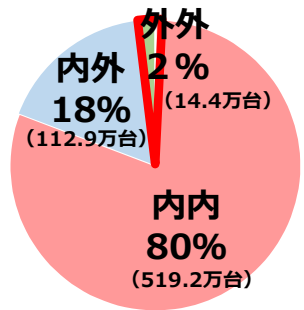
区分	順位	エリア1	エリア2	交通量	割合
外外交通	①	東京都（23区）	圏央道以西（県内）※2	1.4万台	9.7%
	②	埼玉県	圏央道以西（県内）※2	1.4万台	9.6%
	③	東京都（23区）	静岡県	1.3万台	8.9%
	④	東京都（23区）	中部以西 ※3	1.2万台	8.3%
	⑤	千葉県	中部以西 ※3	1.1万台	7.7%
	⑥	埼玉県	静岡県	0.9万台	6.4%
	⑦	東京都（23区以外）	圏央道以西（県内）※2	0.9万台	6.4%
	⑧	東北・北海道	中部以西 ※3	0.7万台	4.7%
	⑨	茨城県	中部以西 ※3	0.7万台	4.6%
	⑩	千葉県	静岡県	0.6万台	4.5%

外外交通 総交通量：14.4万台

※1:「外外交通」とは、圏央道以東エリアを通過すると想定される以下を対象に集計
 ・東京都、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、東北地方、北海道
 ⇄ 静岡県、愛知県、岐阜県、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方
 または、神奈川県（圏央道以東エリア以外）
 ※2:「圏央道以西（県内）」とは圏央道以東エリア外の神奈川県内
 ※3:「中部以西」は、静岡県及び山梨県を除く中部地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方



- ① 東京都（23区）⇄ 圏央道以西（県内） 1.4万台
- ③ 東京都（23区）⇄ 静岡県 1.3万台
- ④ 東京都（23区）⇄ 中部以西 1.2万台
- ⑤ 千葉県 ⇄ 中部以西 1.1万台
- ⑧ 東北・北海道 ⇄ 中部以西 0.7万台
- ⑨ 茨城県 ⇄ 中部以西 0.7万台
- ⑩ 千葉県 ⇄ 静岡県 0.6万台



圏央道以東エリアのOD特性